

防災配慮の850戸 マンション開発

大阪・福島区

マンション開発のリバー産業(大阪市)は25日、防災面に配慮した総戸数850戸の大規模マンション(地上20階、地下1階)を同市福島区で開発すると発表した。

塩野義製薬の旧中央研究所の跡地に建設する。鉄筋やコンクリートの量を通常より5〜7%増やし、耐震性を高める。災害用トイレや川の水を飲料に変える小型造水機なども備える。

津波時に避難住民を受け

入れる「津波避難ビル協定」を福島区や近隣町会と結んだ。3階以上の共用廊下に計4500人以上を収容できるといふ。

2LDK〜4LDKで、来年2月に予定する1次売り出し分の価格は2400万〜7900万円程度になる見通し。